

目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「ツツジの森の遊歩道」
- 4 迎春／新年のごあいさつ
- 8 お知らせ「副村長就任あいさつ」ほか
- 10 飯館百景「キラキラ冬の夜」
- 12 議会報告 12月議会定例会
- 14 学びの広場「もちつき会」ほか
- 15 ほけんとふくし「フレイル予防」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 そのころはっ／おすすめ図書
- 20 おしらせのページ
- 21 入札結果
- 22 いいたてDIARY／ラオス通信。
- 23 ふるさと資源／ひとのうごき
- 24 HOPES（ホープス）



今月の表紙

キャンドルアーティストのキャンドル・ジュンさん（上の写真左上）が来村して行われたキャンドルナイト。記事はP10をご覧ください。表紙の左下にあるQRコードをスマートフォンのカメラで読み込むとYouTubeから動く表紙が見られます。操作に慣れない方は、詳しい人にやり方を聞いて、イルミネーションを楽しんでください。

ツツジの森のやさしい遊歩道

間伐材のチップをまわいに敷き詰めました

ツツジの咲く季節が待ち遠しいですね！

自生するヤマツツジが初夏には一面に咲く「大火山ツツジの森」に遊歩道がつけられました。大火山の南側斜面に広がる「ツツジの森」では、震災前から長年「飯館村議会OB会」が手入れを行っていて、その活動を引き継ぐ形で、現在は村が整備を進めています。今年度は、森林整備と併せて、間伐材を活用した遊歩道の整備が行われました。

遊歩道の整備は、村の委託を受けて森林整備を進めていた飯館村森林組合が行いました。「ツツジの森」に機械を搬入し、間伐材を現地でウッドチップに加工。それを、遊歩道となる部分に敷き詰めていきました。間伐材を生かした自然素材の遊歩道です。この事業は、「福島県森林環境交付金」を活用して実施しました。



右は令和2年5月に撮影したツツジの森。群生するヤマツツジの朱色と新緑のコントラストが鮮やかでした。



木々の間を縫うように続く遊歩道に、刈り払いした間伐材のウッドチップが敷き詰められました。フカフカして気持ちのよい歩き心地。歩く人にも環境にもやさしい小径です。ウッドチップの風合いが、景観に温かみを加えています。

今月の話題
vol.9



大火山の鉄塔の下から斜面に広がる遊歩道。ゆったりと散策を楽しむことができそうですね。ツツジの森のヤマツツジは、例年5月中旬に見頃を迎えます。

動画はこちらから



続けられていた地道な整備

ヤマツツジの群生地を村の名所に一。この地の整備は、飯館村議会OB会が、平成16年から続けていました。その地道な活動が続く中で起きた震災でした。OB会は全村避難中も、有志で整備活動続け、村も周辺の道路を舗装するなどして、「ツツジの森」は形づくられてきました。現在は、村の委託を受けて、飯館村森林組合が整備活動を行っています。



議会OB会の整備活動（平成27年）



村と森林組合の打ち合わせ（令和2年）

【お詫びと訂正】12月号のこのコーナーで紹介した福島大学の農林サークル「福桃」は「フータオ」と読みます。誤記をお詫びし訂正いたします。